

## 平成 29 年度 第 286 回教育研究審議会議事要録

**日時** 平成 30 年 3 月 13 日 (火) 13:30～15:30  
**場所** 北方キャンパス本館 E701 会議室  
**出席者** 松尾学長、柳井副学長、梶原副学長、二宮副学長、中尾副学長、田上事務局長、大平外国語学部長、朱経済学部長、田部井文学部長、小野法学部長、眞鍋地域創生学群長、龍国際環境工学部長、日高基盤教育センター長、八百社会システム研究科長、任マネジメント研究科長、今泉学生部長、田村教務部長、後藤入試広報センター長、佐藤情報総合センター長、廣渡評価室副室長

**配布資料**

- 1 教員採用選考報告書 (文学部)
- 2-1 特任教員の選考について (国際環境工学部)
- 2-2 特任研究員の選考について (国際環境工学部)
- 2-3 特任教員の選考について (環境技術研究所)
- 2-4 特任教員の選考について (地域共生センター (地域創生学群))
- 2-5 特任教員の選考について (地域共生教育センター、まなびとESDステーション)
- 2-6 特任教員の選考について (大学教育再生加速プログラム推進室)
- 3 済州大学校 (JNU) との大学間協定等の締結について
- 4-1 平成30年度計画 (案) の概要
- 4-2 公立大学法人北九州市立大学平成30年度計画 (案)
- 5-1 本学の内部質保証の推進について
- 5-2 教育改善・室保証準備室規程 (案)
- 5-3 IR室規程 (案)
- 6 外国語学部英米学科の改編に伴う入学定員変更による学則変更について
- 7 大学院担当教員の資格審査結果について
- 8 学長選考型研究費の見直しについて
- 9 地 (知) の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+) 中間評価結果の総括
- 10 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

### 第 1 号 教員の人事について

\* 資料 1 のとおり、文学部人間関係学科の教育心理学担当教員採用人事について、選考委員会から採用候補者 (山下智也氏) の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

- 教員資格選考調書中、現職及び教歴の欄に「専任准教授」とあるが、准教授ではないか。
- ご指摘のとおり、訂正したい。

【議長】一部資料修正のうえ、提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

### 第 2 号 特任教員の選考について

\* 資料 2-1 のとおり、国際環境工学部特任教員 2 名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

\* 資料 2-2 のとおり、国際環境工学部特任研究員 14 名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

\* 資料 2-3 のとおり、環境技術研究所特任教員 2 名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

\* 資料 2-4 のとおり、地域共生教育センター（地域創生学群）特任教員 2 名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

\* 資料 2-5 のとおり、地域共生教育センター特任教員 2 名及びまなびと ESD ステーション特任教員 2 名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

\* 資料 2-6 のとおり、大学教育再生加速プログラム推進室特任教員 1 名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

### 第 3 号 済州大学校との大学間協定等の締結について

\* 資料 3 のとおり、済州大学校との大学間協定等の締結について提案。

- 韓国有数の観光地である済州島唯一の国立大学として、観光経営学科や観光開発学科において英語による先進的な講義が開講されており、本学で開設する新英米学科のグローバルビジネスプログラムとの連携も期待できる。平成 29 年度中に締結したいと考えている。
- 協定書について、「済州大学」となっているが、大学校とするかは先方と協議中である。
- ハングルの協定書は署名欄に学長の名前が記載されていないが、問題ないか。
- 「大学」の表記とあわせて修正したい。

【議長】確認及び一部資料修正のうえ、提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

### 第 4 号 平成30年度計画（案）について

\* 資料 4-1、4-2 のとおり、平成 30 年度計画（案）について提案。

- 第 284 回教育研究審議会（平成 30 年 2 月 13 日開催）に示した平成 30 年度計画（素案）について、各部局からの意見等を踏まえ修正を行ったもの。本日承認されれば、3月22日の役員会、経営審議会を経て、3月末までに市に届出を行う予定である。
- No8について、TOEIC対策は学部長裁量経費を活用して実施している。引き続き配慮をお願いしたい。
- No11-1について、「Moodleを活用」とあるが、今後もMoodleを使うのか。
- 一部使いにくいという意見もいただいている。平成30年度はMoodleを使う方向で考えているが、今後調整したい。
- No14-1の大連外国語大学からの受入枠拡大について、現在社会システム研究科の専攻会議で検討いただいている状況である。
- 修正が必要であれば学長一任ということをお願いしたい。

- No23-2に関連して、現在サポート人材の育成について検討したいと考えているが、追記できないか。
- 計画には、実施が決まってからあげていただく方が良い。
- No24-1の図書館のラーニング・コモンズエリアの活用について、利用申請をしたら断られたという話も聞く。アクティブ・ラーニング推進の観点から、利用方針はどのように考えているか。
- 重要な視点だが、今後個別に検討したい。
- No58-2の飲料水自動販売機の拡大について、大学として電気代を含め、黒字になるのか。
- 黒字になる。
- 一部誤字があるのではないか。
- ご指摘のとおり、訂正したい。

【議長】確認及び一部資料修正のうえ、提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

### 第5号 内部質保証の推進について

\* 資料5-1～5-3のとおり、内部質保証の推進について提案。

- 平成31年4月からの内部質保証の本格実施に向け、内部質保証の方針を定めるとともに、教育改善・質保証準備室及びIR室の設置を行うもの。
- IR室は第2期中期計画で取り組んでいなかったか。
- 北九大教育情報システムKEISYSを平成26年度に構築した。現行のKEISYSでは新たな内部質保証の取組みに対応できないため、IR室を設置し、収集データの拡充、新しいシステムの構築等に取り組むたいと考えている。
- 内部質保証において、組織による自己点検・評価のイメージはあるか。
- 具体的には、今後、教育改善・質保証準備室で実施要項や評価基準を検討していくことになる。
- IR室について、APで活用するデータを収集するなど、AP推進室との連携をお願いしたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

### 第6号 英米学科の改編に伴う入学定員変更による学則変更について

\* 資料6のとおり、英米学科の改編に伴う入学定員変更による学則変更について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

### 報告

- ① 大学院担当教員資格審査結果について、資料7のとおり報告があった。
- ② 学長選考型研究費の見直しについて、資料8のとおり報告があった。
- ③ 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」中間評価の結果について、資料9のとおり報告があった。
- ④ 教員の海外出張について、資料10のとおり報告があった。
- ⑤ 次回の審議会を平成30年3月27日（火）に開催する予定である旨、報告があった。